



問 農業資材高騰に対する町の対応は

答 高騰状況を注視して対応を考えていきたい

ウクライナ情勢などを背景にして農業資材価格が高騰し、生産意欲の低下など農業経営に大きな影響を与えているが、町の対策は。

問 水稲作付面積の減少や生産作物の転換などを把握して

いるか。

産業課長 令和3年度と令和4年度の転作作物の実績面積を比較すると、水稲作付面積が大きく減少し、麦類や野菜類が増加しています。大規模農家の水稲作付からの転換が要因と捉えています。

問 国や県が行う支援事業は大規模農業者を対象としていることが多いため、小規模農家へ町独自で支援をしてはどうか。

産業課長 農業用生産資材の高騰状況を注視しながら対応を考えていきたいと思います。

問 染谷町長の行政運営への思いを伺う

4期16年を振り返り、町長としての決断やその時の思いなどをお聞かせください。



町長 就任以来、「絆」をキーワードに町民・企業・行政が一体となった協働のまちづくりを目指して町政運営を進めてきました。

就任当時は、町の公債費比

率が県内ワースト1であり、財政健全化が最重要事項でした。団体補助金の減額など、みんなで痛みを分かち合い、一体となってくれたことで、危機状態を乗り越えることができました。2期目には、東日本大震災で本町も震度5強を記録し、災害に強いまちづくりを進めました。3期目には、圏央道の開通や新4号国道の4車線化、町制施行20周年を迎えるなど、新たな町の転換期にもなりました。4期目には、五霞町誕生から130年目を迎え、令和2年度からはコロナ対策、そして、令和元年台風19号では、本町初

の避難勧告を発令しました。町民の命を守る、その全てを町長が握っていることの重さをつくづく感じたところでございます。

このような中、微力ながらも、この16年間で本町発展にいくつもの種もまかせていただくことができました。未来に向かってその成果を見届けてまいりたいと考えております。

16年という長きにわたって町政の舵取り役という重責を務めさせていただいたことを誇りに思います。ありがとうございました。